

■県内税務署別の最高路線価

順位	税務署	所在地	2019年	2018年	変動率(%)
1	下関	下関市竹崎町4丁目 下関駅東口駅前広場	21.0	21.0	0.0
2	山口	山口市小郡黄金町 県道山口阿知須宇部線 通り	14.5	14.5	0.0
3	岩国	岩国市麻里布町2丁目 本通商店街通り	12.0	12.0	0.0
4	徳山	周南市銀座1丁目 徳山駅北口駅前広場	11.0	11.0	0.0
5	防府	防府市中央町 市道大林寺協和線通り	10.5	10.5	0.0
6	宇部	宇部市常盤町1丁目 常盤通り	6.8	6.9	▼1.4
7	光	光市浅江3丁目 国道188号通り	5.4	5.4	0.0
8	柳井	柳井市南町3丁目 国道188号通り	4.8	4.8	0.0
9	萩	萩市土原 国道191号通り	4.5	4.6	▼2.2
10	厚狭	山陽小野田市西高泊 国道190号通り	3.9	3.9	0.0
11	長門	長門市東深川 市道駅南中央線通り	3.1	3.1	0.0

※1平方メートルあたりの評価額。単位は万円。
▼はマイナス

路線価 県内平均0.1%下落

広島国税局は1日、県内の路線価を発表した。標準宅地4090地点の平均変

動率はマイナス0.1%で、10年連続で下落した。県内トップは21年連続で下

った。11税務署(と)の最高路線価は、横ばいが下関、山

関市竹崎町4丁目のJ.R下関駅東口駅前広場。価格は21万円。4年連続横ばいだ

口、岩国、徳山、防府、光、柳井、厚狭、長門の9署。宇部、萩の2署が下落し、萩がマイナス2.2%(前年マイナス4.2%)で、最も下落率が大きかった。

山口市のトップは、J.R新山口駅前にある山口市小郡黄金町の県道山口阿知須宇部線通りで14万5千円。県庁所在地としては、昨年と同じく全国43位だった。

標準宅地4090地点(前年4047地点)のうち、上昇したのは391地点(同212地点)。下関市のJ.R新下関駅の北側と南西方面、山口市のJ.R新山口駅の北側方面の上昇が多くみられる。両エリアは商業地も上昇している。

路線価は、主要道路に面した1平方メートルあたりの評価額(1月1日時点)で、相続税や贈与税を計算する基準になる。(磯部修作)